



叶え合う支援

どなたでも参加OK

今回は、こころの世界と
ものづくりについて
深堀していきます

今回のタラレバ会議では、幻聴や幻視などを体験している方がどのような世界を生きているのか、その体験世界の意味や受け止め方は人それぞれであることについての理解を深めます。同時に、皮革や手仕事の持つ力を通じて、新たな支援やつながりの可能性について、皆さんと一緒に考え、小さな実践につなげていきましょう。

社会問題 タラレバ 会議

vol.02

2026 **7/29** 水

19:00 - 21:00 (受付18:30から)

会場

コーヒーショップツネ

📍 埼玉県草加市金明町368-1



社会問題 タラレバ会議

vol.02

話題
提供



北島 多恵

TAE KITAJIMA

1969年生まれ。ルーツは沖縄。足立区の精神科病院で心理士として29年間勤務。心理検査やカウンセリングに加え、生活保護・障害年金申請、退院支援、地域活動支援センターの立ち上げ・運営など、医療・福祉・地域にまたがる幅広い支援に携わる。現在は草加市と世田谷区で地域の相談員として活動。「想像力をもち、対話を重ねること」を大切に、一人ひとりに寄り添いながら、人と地域をつなぐ支援を続けている。

草加市障害者相談支援事業所ふらっと草加
相談支援専門員

聞き
手



たかはし けいた
高橋 啓太
特技:インスタ投稿

ケアプロ訪問看護ステーション草加 所長
／看護師

河合 泉

IZUMI KAWAI

SOKA LEATHER広報として、草加の皮革産業のPRと商品企画を担う。革の香りと職人のほやきを愛しながら、100年続く伝統ある技術をリスペクトし、真面目さとユーモアの間をゆるやかに行き来しながら、皮革の工程がぎゅっと集まる草加ならではの魅力を親しみやすく発信している。

河合産業株式会社マネージャー
レザータウン草加プロジェクト 広報・コーディネート

いいだ のぞみ
飯田 希見
一言:「スクエアの
体力担当です」



SOCIALSQUARE草加谷塚

「叶え合う支援事業」

とは、個人や組織・団体、コミュニ

ティなどがつながり合い、地域全体で支え

合う関係性をみんなで作っていくためのプロ

ジェクト。「する・される」という一方的な関係性では

なく、お互いの願いや思いを「叶え合う」ような、対

話的で創造的なプラットフォーム

を目指しています。

叶え合う支援

とは？



参加申込はこちらから

先着順となります。定員(60名)に達し次第、
受付を締め切らせていただきます。

〈お問合せ〉

tel/048-922-1024 (草加市 福祉政策課 池田)

mail/teppei@hang-over.co.jp

(ハングオーバー株式会社 岩淵)

主催/草加市

企画運営/Soka Fukushi Consortium (SFC)

※詳細は草加市サイトでご確認ください。

※飲食のご提供はありません。